

令和6年8月23日

常総市立豊岡小学校 不祥事防止に向けた取組

常総市立豊岡小学校長

本校では、以下のような対策のもとサービス規律確保を図ります。

1 目的

年間を通して継続的に校内研修を行うことにより、不祥事への当事者意識を醸成し、学校全体で不祥事の根絶を図るものとする。

2 コンプライアンス推進委員

校長、教頭、教務主任、副教務主任、事務主事、新採教員で構成する。

3 コンプライアンス研修年間計画

4月	○教育公務員としてのサービス規律の確保(3ない運動+4の徹底 等)
5月	○生徒指導のあり方(生活アンケートの実施と教育相談 等)
6月	○個人情報保護について(個人情報の取扱い 等)
7月	○学校徴収金等の取扱いの留意点(学校徴収金取扱要綱の確認 等)
8月	○人権教育研修(人権教育の進め方 等)
9月	○職場における心身の健康維持(メンタルヘルスの維持向上 等)
10月	○交通事故と飲酒運転の根絶(スピード違反、交通事故防止の事例研修 等)
11月	○ハラスメントの根絶について(様々なハラスメント行為 等)
12月	○個人情報の保護(個人情報として管理すべき事項 等)
1月	○体罰の禁止(言葉による体罰の防止 等)
2月	○情報セキュリティの確保(ネットルール、ネットマナーの順守 等)
3月	○1年間のまとめと次年度に向けての課題(次年度の研修計画の立案 等)

4 主な施策

(1) 「One IBARAKI」の活用

毎月、県教育委員会から発行されている「One IBARAKI」を校内研修で活用する。

(2) 校内環境の整備

○ポジティブな職場環境：学校全体でポジティブな職場環境を作り、教員同士の協力やサポートを促進する文化を醸成する。

○サービス規律の明文化：サービス規律や職務に関する規則を明文化し、全教員に周知徹底する。

○定期的な面談：教員と管理職との定期的な面談を行い、問題点や改善点を共有する。

○フィードバックの仕組み：教員同士で、相互にフィードバックを行う仕組みを整える。

(3) 3ない運動+4：合い言葉「たいせつですね」の徹底

<p>た (体罰、暴言)</p>	<p>体罰は指導にはなりません。 「フレミングの法則」生徒に中指を立てられ…講師が激怒し暴力「米国なら殺されるぞ」と暴言(新聞の見出し)子どもたちの言動に、カットせず、冷静な対応が必要です。</p>
<p>い (飲酒運転)</p>	<p>歓送迎懇親会・GW・年末年始 気が緩みやすい時期です。アルコールは、体に影響を及ぼす物質であることを認識してください。見つからなければ、隠し通せると思っても脳や体がそうできないことがあります。</p>
<p>せ (セクハラ、わいせつ)</p>	<p>相手意識・道義的問題 児童生徒に対しては言語道断です。しかし、大人同士の場合、冗談などと軽視してしまうことはありませんか。でも「そんなつもりではなかった」ではすみません。知らず知らずに誰かを傷つけているかもしれないことを認識しておきましょう。</p>
<p>つ (遣い込み)</p>	<p>後で補填しておけば… 「ほんのちょっとだから」「後で補填すればいいから」などの軽い感覚がのちに大きなことにつながります。お金は、少額であっても信頼関係を壊すものになります。</p>
<p>で (データの漏洩)</p>	<p>学校にはたくさんの個人情報 人間を預かっている職業であるからこそ個人情報を扱うことを避けて通るわけにはいきません。ちょっとしたヒューマンエラーがもとになることが多いです。</p>
<p>す (スピード違反)</p>	<p>ハンドルを握ると… 道路では法定速度を守って走っている方が少ないとみえることもあります。でも、ルールはルール、危険だからあるルールです。しっかり守りましょう。</p>
<p>ね (ネット犯罪、SNS)</p>	<p>有益な情報もありますが、匿名性が怖い ブログ、Twitter、Facebook などSNSは情報量や即時性の点から利便性は確かにあります。でも匿名性があることから、うっかり投稿してしまうケースがあります。一度、流れた情報はデジタルの世界では、回収は不可能であることを認識しましょう。</p>